

乳がんについて知ろう！あなたとあなたの大切な人のために

日本では16人に1人がかかるといわれる乳がん。治療率を高めるには「早期発見」が基本です。今回は早期発見・早期治療に有効な「プレストセンターとその役割」についてご説明します。



宇都宮セントラルクリニック理事・放射線科医
佐藤俊彦氏

・セントラルメディカル倶楽部顧問医
・野口記念インターナショナル画像診断クリニック院長

・主な著書
『超早期乳がん最新治療』（現代書林）、他多数

米国では、90年代よりプレストセンターという乳がんの画像診断センターが急激に増加しています。これは、女性だけの環境で画像診断を受診し、早期の乳がんを見つけ、生検を実施して効率よく早期治療に導入することを目的としたセンターです。"Mammography saves your life" という啓蒙活動をピンクリボンが実施して、

プレストセンターが迅速かつ安全に検査を実施するという役割分担で、乳がんの死亡率を低減してきました。当院はこの活動に共鳴し、日本で初めてPEMを実装したプレストイメージングセンターを今年オープンします。センターには、乳がんの画像診断医と自治医大乳腺科の医師を中心に、乳腺専門医が勤務し、連携して迅速な検査を行い、治療医

療機関との連携を図っています。また、術後のフォローアップ外来を当院のプレストセンターで担当するという病診連携を図って、地域の乳がん診療のハブを目指します。



11月24日(日)完成内覧会開催
10:00~15:00 参加自由
お子様連れの方もお気軽に！

乳がん検診実施中



医療法人DIC 宇都宮セントラルクリニック

宇都宮市屋板町 561 - 3

☎ 028・657・5215

<http://www.ucc.or.jp>

宇都宮セントラルクリニック 検索

PR